



女の政治参加、 今のままでいいの？

3月17日(土) 13:30~16:30

開場 13:00 講演 2 時間 途中休憩あり

会場：ひらつか市民活動センター

(平塚市八重咲町 3-3 JA ビルかながわ 2 階)

講師：江刺 昭子氏



女性参政権が実現して72年。これによって何が変わったのかを検証します。

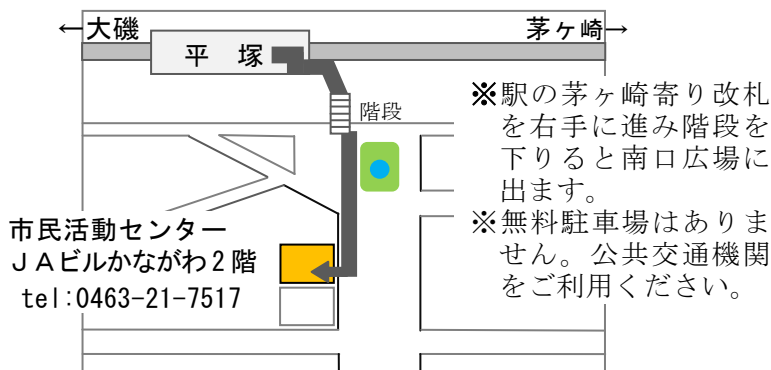
今、国会の女性議員比率は、先進国中最下位。

では、女性議員は増えればいいのか。

軍事強硬主義、排外主義、反フェミニズムを主張する女性議員の言動にも注目してみます。

参加費：500 円 (資料代含む)

定員：先着 80 人



江刺昭子氏プロフィール

広島県出身。大学卒業後、文化出版局『装苑』『ミセス』の編集を経て、評伝作家、ジャーナリストとして独立。

広島で被爆した作家大田洋子の評伝『草履(くさずえ)』で、1972年第12回田村俊子賞受賞。『逗子は燃えた、そして』、『透谷の妻—石阪美那子の生涯』、『樺美智子 聖少女伝説』など著書多数。

神奈川県的女性史編さんや、県内女性史研究グループの指導育成に尽力し、2010年第59回神奈川文化賞受賞。女性史研究の現場から時事評論を発信し続けている。

主催：女性史に学ぶ会

後援：平塚市・平塚市教育委員会

問い合わせ先：0463-71-6471 または 090-6655-7862 星賀 典子